



# 挑戦者

## TABLE OF CONTENTS

- コロナとの闘い—長島昭久の取り組み** (4頁)
  - ☆議員有志と共に**緊急経済対策**を総理・官房長官に対し3度提言
  - ☆困窮する子育て家庭支援のため「**こども宅食**」推進議連設立
  - ☆子ども食堂と共にこども宅食へも**政府備蓄米**の無償提供を実現
  - ☆コロナ禍の**オンライン教育**を支援するため、端末のセキュリティ確保
  - ☆時差出勤を支援するため、各駅**nonowa口**の開場時刻を15分繰り上げ
  - ☆コロナ禍で複合災害を回避するため、**多摩川「大丸堰」**の解体工事加速化へ
- 「日本の外交・安全保障を立て直すために全身全霊を傾けてまいりました！」**河野太郎元外相・防衛相と徹底討論** (2-3頁)
- 7月の東京都議会議員選挙で、3市の議席奪還に全力投球！ (4頁)

衆議院議員  
東京18区  
(武蔵野・府中・小金井)

# 長島昭久

## 子どもたちの未来保障にも全力！

**こども宅食 推進議連立ち上げ**

コロナ禍で子ども食堂などが途絶える中、困窮している家庭や虐待などのリスクを抱える家庭の孤立がますます深まっています。食材を直接家庭に届ける「こども宅食」を通じて、子どもや子育て家庭の見守りを強化すべく、予算を確保しました。

**ひとり親支援**

コロナ禍の影響を受けたひとり親家庭からの窮状が多く届いています。特別給付金をはじめ、かねてからの課題である「寡婦控除の未婚の親への拡大」「養育費の不払い問題」など、ひとり親家庭のサポートに全力を挙げます！

**給付型奨学金の創設**

我が国の教育に対する公財政支出は先進国のなかでも最低レベルです。文部科学委員会の筆頭理事として、大学などの高等教育に対する給付型奨学金の創設に関わりました。

大学生の皆様とオンラインで意見交換

**児童虐待防止**

児童虐待による悲劇的な事件が後を絶ちません。起きてからではなく、未然に防ぐ取り組みが必要です。「児童虐待から子どもを守る議員の会」発起人として、改革の先頭に立つて頑張ります！すべからず、子どもたちの笑顔のために！

**行政母娘の孤立防げず**

保育所やめ、健診未受診—虐待のサイン

「親から信頼される関係づくりを」

**ひとり親支援**

コロナ禍の影響を受けたひとり親家庭からの窮状が多く届いています。特別給付金をはじめ、かねてからの課題である「寡婦控除の未婚の親への拡大」「養育費の不払い問題」など、ひとり親家庭のサポートに全力を挙げます！

**地元の皆さまのお声を国政に！**

昨年11月に、武蔵野市議会有志議員と共に、nonowa口の開設時間の延長をJR東日本に要望。3/13より武蔵境駅・東小金井駅・武蔵小金井駅で開設時間が15分早まりました。

府中市内のフード・パントリーにおいて、困窮するひとり親家庭や大学生の現状などについてヒヤリング。

武蔵野市・府中市・小金井市など各市内で街頭での活動報告を行っています。皆さまのお声が、私の政治活動の原点です。

<p><b>土屋ゆう子</b></p> <p>武蔵野市 武蔵野総支部 政策委員</p> <p>昭和45年生まれ。武蔵野小・五中、田無高校、亜細亜大学卒業。民間企業を経て、衆議院議員土屋正忠秘書。</p>	<p><b>鈴木錦治</b></p> <p>府中市 前都議会議員</p> <p>昭和30年、府中市は政生まれ。府中市議会第49代議長、東京都議会財政委員長などを歴任。</p>	<p><b>広瀬まき</b></p> <p>小金井市 都政対策副委員長</p> <p>昭和57年生まれ。京都大学卒業。三菱UFJ銀行などを経て、平成29年都議選に出馬し、惜敗。</p>	<p><b>自民党 7月4日投票 都議選候補者紹介</b></p>
---	---	--	-----------------------------------

**プロフィール**

〈現職〉  
自民党・衆議院議員(6期目) 衆議院安全保障委員会筆頭理事、憲法審査会委員  
「子どもの貧困対策推進議員連盟」幹事長、「日本の尊厳と国益を護る会」所属  
日本スポーツ協会理事、日本スケート連盟会長、元中央大学大学院客員教授

- 昭和37年(1962年)2月17日、サラリーマンの長男として生まれる(寅年)
- 慶應義塾大学大学院で法学修士号を取得、衆議院議員石原伸晃 公設秘書
- 国際政治を志し渡米、貧乏武者修行7年
- 米国ジョージ・ホプキンス大学で、国際関係論・国際経済学の修士号取得
- 米国最高権威のシンクタンク外交問題評議会の研究員(日本人初)
- 民主党政権下では、内閣総理大臣補佐官(外交・安全保障担当)、防衛副大臣を歴任
- 平成29年(2017年)共産党との共闘に反対し、民進党を離党
- 令和元年(2019年)6月に自由民主党へ入党
- 令和2年(2020年)1月、自民党東京都第18選挙区(武蔵野市・府中市・小金井市)支部長に就任、次期衆院選で元総理に挑む

YouTube 長島昭久 河野太郎 長島昭久 河野太郎

新しい動画を続々公開中！

HP LINE

～後援会員を募集しております！～

**長島昭久後援会事務所**

〒183-0022 府中市宮西町4-12-11モア府中2F  
TEL: 042-319-2118 FAX: 042-319-2119  
メール: info@nagashima21.net 討議資料



**(長島)** しかも、この構想は、戦後初めて、日本がこの地域のリーダーとして、今後どうしていくべきかという大戦略を世界に示した。それをアメリカが追認したという歴史的な意義がありました。

**(河野)** Free and Open Indo-Pacific」と日本が言ったから、アメリカが同じ言葉を使ってくれた。そこから、オーストラリアとか、いろいろな国がそれに乗り、最後はASEANが「インド洋と太平洋を繋いでいるのはASEANだ」と言って独自のインド太平洋構想を出してきた。同時に、アメリカが離脱した TPP を日本がしっかりまとめた。そこがインド太平洋戦略の根底で繋がってききました。

**(長島)** そのような中で、21世紀最大の課題が台頭する中国とどう向き合うか。米国は、「戦略的競争」の時代に入ったと宣言しました。戦略的競争は冷戦時のソ連のように単に封じ込めておけばいいというものではない。競争ですから総合力が試される。外交力であり、経済力であり、軍事力であり、情報力です。こういう時代背景の中で、新しい米中関係、あるいは日中関係をどう考えていますか。



米連邦議会議事堂前で、米留学時代に培った政官学の人脈は貴重な財産。

香港、ウイグル、ミャンマーなどに対する人権弾圧と闘う「人権外交」を超党派で考える議員連盟の事務局長に就任。



昨年逝去された台湾の李登輝元総統から直接ご指導いただく。

# 特別対談 長島昭久×河野太郎



経世済政政策研究会の同志議員と共に菅義偉総理に緊急経済対策を提言。

セミナーの特別ゲストとして、安倍晋三前総理から激励のお言葉。

**YouTube**  
対談の全編は  
こちらで公開

# 長島昭久は外交・安全保障に全力を傾けてきました!



尊敬する中曽根康弘元総理の前で憲法改正の演説

**活米**  
という流儀  
外交・安全保障のリアリズム  
長島昭久

**憲法考**  
集団自衛権 戦争防衛のため  
民主 長島昭久、防衛副大臣

**(河野)** 中国の影響力が拡大していく中で、日米とオーストラリア、カナダなど共通の価値観を持っている国が連携してどう向き合っていくか。とくに、ポスト・コロナは「自由社会」対「監視社会」、「民主主義」対「独裁」、あるいは、フェイクニュースも嘘もあるけれど自由にネットの中を駆け巡る社会と、政府が正しい情報を管理する社会、こう分かれていきそうです。

**(長島)** 「抑止」がすべてですね。相手にその気にさせない。過信させない。誤算させない。それだけに、やはり日本とアメリカの意志、特に日本の領土ですから、まず日本の意志があつて、アメリカがそれをサポートする、という強固な連携。それが具体的な行動を伴って相手に伝われば、中国共産党支配の正統性が失われます。そういう状況を長期にわたってつくり続けられるかが課題ですね。

**(長島)** 「抑止」がすべてですね。相手にその気にさせない。過信させない。誤算させない。それだけに、やはり日本とアメリカの意志、特に日本の領土ですから、まず日本の意志があつて、アメリカがそれをサポートする、という強固な連携。それが具体的な行動を伴って相手に伝われば、中国共産党支配の正統性が失われます。そういう状況を長期にわたってつくり続けられるかが課題ですね。



民党政権下では、防衛副大臣、政務官として、国防政策をリード。



外相時代に中国側から、「二国二制度」なのですと先言された。ぼくは「二制度」「二国」でしようと言いつ返したのですが、今や「二制度」は風前の灯火です。「二国二制度」という国際約束を反故にしたら相応のコストを支払わねばならないという事は、もつと強く主張すべきでしょう。

**(長島)** 最後に尖閣問題。2月1日にいわゆる、中国の海警法という、場合によっては軍艦や公船に対して武力の行使が認められるような、国際法違反ともいえるべき法律が施行されました。明らかにステータジが変わってきたと思います。「寸土を失うものは全土を失う」という格言がありますが、この中国の強硬姿勢にどう対応しますか。

**(河野)** 防衛大臣になった時に、アメリカの統合参謀本部議長が来て、『尖閣で戦うか』と問うから、『当たり前だろう。日本の領土だ』と返してやりました。やはり、日本の覚悟というのがアメリカにきちっと伝わって、日米でしっかり守るといのが大事だと思います。ただ、中国は恐らくそれはもう100年計画くらいのつもりでくるわけですから、こつちも長期の視点でむやみにエスカレートさせず、向こうが何かやってきた時には、毅然と日米で対応していく。

**(長島)** 「抑止」がすべてですね。相手にその気にさせない。過信させない。誤算させない。それだけに、やはり日本とアメリカの意志、特に日本の領土ですから、まず日本の意志があつて、アメリカがそれをサポートする、という強固な連携。それが具体的な行動を伴って相手に伝われば、中国共産党支配の正統性が失われます。そういう状況を長期にわたってつくり続けられるかが課題ですね。

**河野 太郎 衆議院議員**  
規制改革担当大臣・新型コロナワクチン接種推進担当大臣、元外務大臣、前防衛大臣。米ジョージタウン大学卒。



国会質疑では揚げ足取りは一切せず、常に建設的な提案を心掛ける。



「プライムニュース」「報道1930」などテレビ出演多数。